

荒川知水資料館 20周年企画 「土木技師青山士の軌跡をたどる」



荒川知水資料館 開館から20年

荒川知水資料館 開館20周年企画 20th Anniversary

土木技師
あおやま あきら
青山士の軌跡をたどる

20th パネル展
5月29日(火)～8月26日(日)

青山士は、旧岩瀬水門を設計するなど、荒川放水路建設工事の指揮をとった土木技師です。
日本人で唯一パナマ運河工事に従事し、その経験を活かして国のため、人のために大工事に携わってきました。荒川知水資料館では開館20周年企画第二弾として、パナマ運河工事から荒川放水路建設工事、そして信濃川改修工事(大河津分水路可動堰)に至るまで、青山士の軌跡を紹介します。6月30日は特別解説員が解説します。

パナマ運河建設工事情時代の青山士(1894年) | パナマ運河・外ヶ瀬開門(1913年) | 旧岩瀬水門完成(1921年)

ミニ・パナマコーナー | **子ども解説員が参加無料**

日時 6月30日(土) 10:30～16:00
青山士が過ごしたパナマをご紹介します！
パナマコーナーの開放にも同意しています。

日時 8月5日(日) 13:00～15:00
※期間内 随時受付

子ども達が自ら面白いと感じたことなどを踏まえ、青山士や荒川放水路建設工事等の展示パネルを説明します。解説後に赤水門のペーパークラフト体験も実施！
場所 荒川知水資料館2階企画展示スペース
子ども解説員募集開始!!(募集締切7月18日)
※詳細は裏面へ！

クワのことも
(代表的道具)

パナマ・ビエホ近代建築

場所 荒川知水資料館3階地域交流スペース
協力 パナマ共和国大使館

フライヤー

平成10年3月に開館した荒川知水資料館(アモア)は、今年(平成30年)、開館20周年を迎えました。記念企画展第二弾として、「土木技師青山士をたどる」を開催しました。荒川放水路工事の指揮をとった青山士が携わった代表的な3つの工事(パナマ運河工事・荒川放水路建設工事・信濃川改修工事(大河津分水路可動堰))を通して、青山士の功績を紹介しました。

【企画展概要】
 期間:平成30年5月29日(火)～8月26日(日)
 会場:荒川知水資料館
 内容:荒川放水路工事の指揮をとった青山士のパネル展



青山氏のサイン入り設計図も展示

会場の様子



企画展関連イベント



ミニ・パナマコーナー6月30日(土)



子ども解説員8月5日(日)



燕市立分水小学校児童発表会8月21日(火)
(荒川放水路と大河津分水路の違いについて)